



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

HP: [ひぐち英明](#)

検索

第340号 2018年9月5日

連絡先: 日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341

: 左京生活相談所

Tel.781-6622

暮らしと要求アンケートに返信2800通 区民の声を京都市に届ける

日本共産党左京地区委員会も参加する「左京自治体要求連絡会」が今年の1月に、「暮らしと要求アンケート」を返信封筒付きで左京区全域に配布し、2,800通以上の返信が寄せられました。



「要望と提案」を京都市に渡す

その中には「90歳で一人暮らし。税金・介護・保健・医療費負担の増加に悩む」「長生きするのがこわい(40代)」など、暮らしに対する要望がぎっしり詰まっており、これは、私たちだけで持つのはあまりにも貴重な資料だと考え、内容を「要望と提案」という形にまとめ、京都市に届けてきました。

■ 大きく5点にわたってアンケートの声を紹介

「要望と提案」では、①国民健康保険料の値下げなど社会保障の充実、②左京区役所への交通アクセスの改善など公共交通の充実、③子どもの医療費助成の拡充など子育て・教育環境の整備、④賃上げに向けた取組の強化など働く環境の改善、⑤地震や豪雨対策の強化など安全・安心に暮らしていくための施策の5点に渡って、区民アンケート結果の内容を紹介しました。

市民のみなさんの切実な思いを、しっかりと実現していくために、行政とも連携しながら取り組みを進めていきたいと思えます。

6月の地震・7月の豪雨災害対応の総括 職員体制の充実が必要

9月3日の総務消防委員会では、6月の地震・7月の豪雨災害の対応にかかわる総括についての報告がありました。

地震の際にも豪雨の際にも、対応する職員の体制が足りない点についてわが党委員が質したところ、「災害時の体制が不十分だった」との答弁がありました。災害時の体制を充実させるには、普段からの職員体制を充実させる必要があります。

ところが、市長が国に言われるまま、職員を削減すること至

上命題にしているため、結局、災害時に市民の命と安全を守るための職員の確保ができていません。わが党は、職員削減ありきの考え方を改め、必要な職員体制の確保を一貫して追及してきていますが、京都市を一刻も早くその立場に立たせなければなりません。

修学院沖殿町の交差点

修学院沖殿町の離宮道に出るT字路の見通しが悪く、カーブミラーをつけて欲しいとの要望をお聞きしました。



土木事務所に連絡したところ、カーブミラーはつけられない代わりに、T字路と分かる道路標示と「止まれ」の線が書かれ、これでしばらく様子を見ることになりました。

写真トピックス



←左京の府市会議員団4人そろって高野交差点で府市政報告宣



左京みんなのデモ→

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長男(高校3年)が夏休みの目標を「達成した」とレポートに書いていました。いったいどんな目標なのか聞いてみたら、「健康で文化的な生活を送ること」だったそうです。

本人が納得した生活を送れたという事実は、とても重要だと思います。ハタから見ていると、「本当かなあ」と思わなくもないのですが・・・